

## 点検のお願い

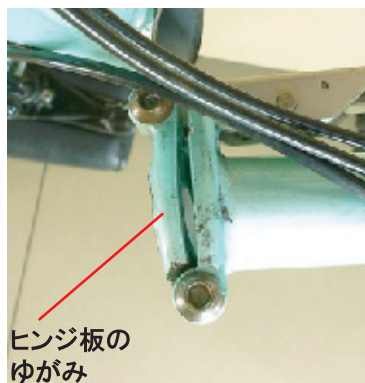
弊社で販売した自転車のフレームが2015年1月31日午後3時ごろ破断し、乗車されていたユーザー様が怪我をされる事故が発生しました。このような事故が起こり深くお詫び申し上げます。詳細については下記の通りになります。また、事故製品の同ロット(同日生産分)についての点検をお願いいたします。

**事故車種** 2010年4月販売、F-20S 2010年モデル ライトグリーン

**事故原因** 今回の原因はヒンジ部、ヒンジアジャストボルト部の緩みと、部分的不完全な溶接の2つの原因から発生したと考えられます。  
(事故商品は通常商品の溶接状態より劣っており、その原因については現在調査中です。)



F-20S ライトグリーン(事故同型車)



**事故防止の対策として** 今回事故の2つの要因の対策

■2010年発売 F-20S 2010年モデルの事故車と同ロット生産分について、フレーム部にひび、割れ、がたつき等がないかご確認ください。不具合が有る場合は使用を中止しお買い上げ販売店に連絡ください。

該当車種 : 2010年モデル F-20S  
車体NO. : U9・・・(U9から始まるモデルになります。)



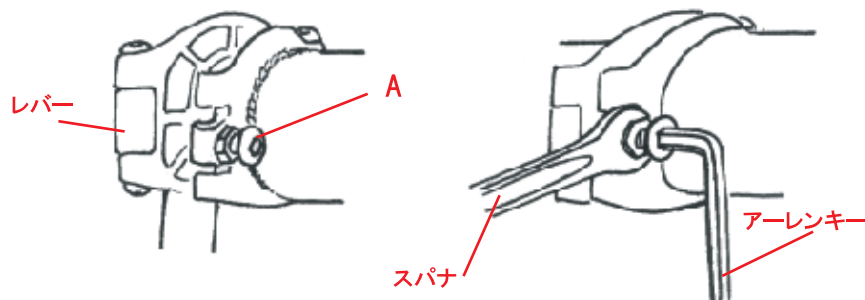
フレームマーク

■ヒンジ部アジャストボルト部に緩みがないかご確認ください。

※該当車種以外にも日常点検をお願いいたします。

- ① アジャストボルト部(A)のボルト、ナットに緩みがないか確認ください。
- ② 緩みが有る場合は下記の要領で調整をお願いします。

レバー部の調整方法 (レバーのしまり具合が緩い場合)



- 1, アーレンキーを使用し矢印の方向(時計と反対方向)へ少しずつ回して、レバーを開閉させて硬さを確認しながら調整します。
- 2, 硬さの調整が出来たら、ボルトが回らないようにアーレンキーで固定したままナットを時計方向にスパナでフレームヒンジ部に押し付けるように締めて、ボルトが回らないように固定します。

※レバーの操作についてはKHSホームページのCONTACT US → MANUAL → 新型フォールディングレバー、をご覧ください。

**確実な調整はお買い上げ  
販売店でお願いいたします。**